

水雷戦隊、ガンプラ、そして釣り 私の結婚相手はプラモか魚か

遊技機開発委員会 委員長 茂木欣人
遊技機健全化委員会



40歳過ぎてても独身。私の人生これでいいのか。そんな悩みを解決できないのに、2つの委員会の委員長を引き受けています。前回は、大ヒラメ写真で登場しましたが、今回は少年時代からつながる日常を紹介します。

9月19日のアジ釣り大会で4位に入賞した茂木さん(左から2人目)



子供のころはプラモ少年でした。小学生の頃は、友人の間で海軍派と陸軍派が分かれており、海軍派の私は1/700ウォーターライオンシリーズを作っていました。喫水線上のみの模型で帝国海軍艦艇を相当数作りました。子供なら戦艦中心と思われるでしょうが、当

時から変わった子だったようで、乙巡(軽巡)と駆逐艦ばかり作り、水雷戦隊編成をながめていました。なぜ水雷戦隊が好きだったのか、それは映画「太平洋奇跡の作戦キスカ」の影響ではないかと。霧中、木村昌福少将率いる乙巡「阿武隈」が・・・と円谷特撮映画がきっかけになったと思います

(劇中は大村少将など架空名)。乙巡といえば、主力であった5500トン級の長良型、阿賀野型(天一号作戦で大和とともに沈んだ矢矧が有名)などが記憶に残っています。模型の箱には、戦歴が記されておりネットのない当時の情報源でした。

そんな少年時代、ガンプラブームが来しました。ガンプラが好きというよりも、作品自体に引き込まれていきました。一昨年は、ガンダム30周年だとかで、仕事の合間を縫ってお台場に等身大ガンダムを見に行きました。世界観、そして様々なサイドストーリーと今なお新作が登場するガンダム、我が心には「ジオンの魂」が今も宿っています。

少年時代からガンダムなどとも30年たった今、さすがにプラモ作りはしませんが、平日はガンダムネットゲーム「GN03」、ネットにニコニコ動画に休日には魚釣りという生活。釣りというアウトドアがなければ、完全にオタク生活。以前彼女に「あなたは釣りと結婚してるでしょ」と言われた事もありました(ガンダムとも結婚していることは隠していました)。

大手家電量販店のプラモコーナーで、パッケージに見とれていたならそれは私です。「Sieg Zeon」と声をかけてください。

